

2018年4月1日～2024年12月31日の間に 当科においてレンバチニブによる肝細胞癌の治療を受けられた方へ

「切除不能大型肝細胞癌におけるレンバチニブの有用性」へのご協力をお願い

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学 消化器内科学 講師 吉岡奈穂子
研究分担者 消化器内科学 教授 仁科惣治
非常勤医師 富山恭行
講師 佐々木恭
臨床助教 三宅智雄 佐藤辰貴 佐々木啓壮
特任研究員 日野啓輔 原裕一

1. 研究の概要

近年、大型の肝細胞癌に対しては、分子標的薬による治療が推奨され始めています。当院、および共同研究機関である福山市民病院において、分子標的薬（レンバチニブ）による治療を行った大型の肝細胞癌症例について、その臨床的特徴や治療効果、副作用などを後ろ向きに解析し、レンバチニブの有用性を評価します。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2018年4月1日～2024年12月31日の間に川崎医科大学附属病院および共同研究機関でレンバチニブによる肝細胞癌の治療を受けられた方を研究対象とします。

2) 研究期間

2020年10月5日～2025年12月31日

3) 研究方法

2018年4月1日～2024年12月31日の間に当院においてレンバチニブによる肝細胞癌の治療を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに採血結果や画像検査のデータを選び、治療効果や副作用を調べたり、治療効果に寄与する因子の解析を行ったりします。

4) 使用する情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、治療歴、採血結果、CTやMRIといった画像検査の結果、副作用等の発生状況、等

5) 情報の保存

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学消化器内科学実験室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。

6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年6月30日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 消化器内科

氏名：吉岡 奈穂子

電話：086-462-1111 内線 44530（平日：8時30分～17時00分）

ファックス：086-464-1196

E-mail：naoyoshi@med.kawasaki-m.ac.jp

<研究組織>

研究代表機関名 川崎医科大学 消化器内科学

研究代表責任者 川崎医科大学 消化器内科学 講師 吉岡 奈穂子

共同研究機関

福山市民病院 内科科長 医療技術部次長 藪下 和久

3. 資金と利益相反

この研究において、資金の受入及び使用はありません。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。